



参議院議員

比例代表(全国区)

はるこ

ありむら 治子

活動レポート

平成 26 年-夏



— 第 186 回通常国会の閉会にあたって —

全国の同志の皆さま、こんにちは！暑い夏の到来です。
動き始めたアベノミクスを、次は全国津々浦々へ。ローカル・アベノミクスの実現こそが課題です。

東日本大震災からの復興と「新しい東北の創造」、2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催を視野に、成長戦略のさらなる深化を一つ一つ具現化していきたいです。

ともに歩んで下さっている同志の皆さまのご健勝をお祈りし、心して活動報告を申し上げます。

感謝

有村治子



参議院議員ありむら治子



日本の安全と尊厳を守る

—— 手弁当で奮闘！海外に住む日系人からの報告

5月15日(木)、終戦から70年という節目をみすえ結成された、超党派有志議員による勉強会に出席しました。今日のテーマは、「慰安婦問題にかかる海外での実態」です。

韓国の日本大使館前の像に続き、米国で最初の慰安婦像が設置されてしまったカリフォルニア州グレンデル市と、現在まさに慰安婦像設置が検討されている、オーストラリア・ストラスフィールド市から現地の報告をいただきました。異郷の地で根を張り、邦人の安全と尊厳を守るために、手弁当で精力的に活動していらっしゃる方々の言葉には、大変説得力があります。

アメリカやオーストラリアにおいて、韓国系・中国系住民が、河野談話を根拠に地元議会に対して強かに推進している反日ロビー活動によって、日本人留学生へのいじめや日系社会に対する「ヘイトクライム」(憎悪により引き起こされる犯罪)の危険性に直面している日系人の実情が生々しく語られました。

—— 河野談話の作成過程を検証

日本軍による強制徴用について記した河野談話には、「韓国慰安婦」の方々の証言内容の信憑性や、談話作成過程の透明性において数々の問題があります。

歴史の真実というより、「日韓の政治的妥協の産物」であったことが、先日の石原信雄元官房副長官の国会発言でも明らかにされました。

河野談話の作成過程を検証し公表した安倍内閣を支持し、政府には今後とも「国民の知る権利」に添えていただきたいと思います。真実は日本の立場を強くする、と確信しています。

政治的な民族対立によって、日本人や日系人の子供達がいじめや迫害にあうことを避け、邦人の安全確保に尽くしていかなければなりません。同時に「歴史認識」を政治・外交問題にしている中国・韓国の主張に対しては、「事実」と「政治的主張」の峻別がなされるよう粘り強く対応していくことが肝要です。国家の尊厳と先人の名誉を回復しなければなりません。



「歴史認識」について自民党を代表して安倍総理に質問をするありむら治子。当日はNHKで全国に中継され、翌日の全国各紙にも報道されました。

(3/14 参議院予算委員会)

畳こそ“Made in Japan”で！



たたみ振興議員連盟総会にて挨拶をするありむら治子(5/15)

ただみおもて

畳 表の国内自給率は約20%という現状、思ったより低いですね。「和の暮らし」が全て中国産となる事態はぜひとも避けたいもの。2020年の東京オリンピック・パラリンピックは、世界中から来日する選手や観光者に“TATAMI”をアピールする大きなチャンスです。「和の暮らし畳アピール作戦」の具体的な仕込みを始めていきたいです。

—— 日本から、世界へ“TATAMI”を発信

5月15日(木)、「たたみ振興議員連盟総会」が開催されました。私は、たたみ応援団(たたみ振興議員連盟)の幹事長をしています。昨年末、「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。和食と並んで、私たちが日本の風土に合った、健康的な暮らしをする上で欠かせないのが「畳」。畳には、空気を清浄にしたり、保温や断熱、湿度を調整する効果など、私たちの生活を快適にする機能が備わっています。

しかし近年、生活スタイルの変化に伴い、暮らしの中の畳が厳しい状況に直面しています。



⚡ 電力小売自由化 参考人質疑

6月5日(木)、経済産業委員会にて「電気事業法」改正案についての参考人質疑が行われました。参考人は、電気事業連合会 八木誠会長(関西電力社長)、東京大学 松村敏弘教授、電力総連 岸本薫会長の3人。立場や主張の違う3人ではありましたが、電力・エネルギー政策についての豊富な知識と経験に裏打ちされた真摯な発信力に、心からの敬意を覚えました。私は、次の二点を質問しました。



参考人質疑にて質問するありむら治子(6/5 参議院経済産業委員会)

—— 当日の質問内容

- ①日本の停電発生率は先進国の中でも特に低く、停電した際の復旧までにかかる時間も短い。電力の小売事業全面自由化をはじめとする電力改革を行うことで、停電が発生する頻度や停電時間、停電のエリア等、国民生活にどのような影響があり得ると考えられるのか。
- ②電力消費者(需要家)をなす国民が電力を選ぶという電力の小売自由化は、言い換えれば、売り手の小売業者が買い手の消費者を選ぶことにもなり得る。利益率の高い(うま味のある)需要家のみを対象とする小売事業者が出てくるとも予想され、そのしわよせで一般消費者が高い電気料金を支払うことになれば国民全体の損になる。競争関係の中で、多数の一般消費者が不利益を被ることはないのか。

電力の安定供給と消費者の利便を両立していくことがねらいです。震災後のエネルギー・電力事業のあるべき姿に向かい、制度設計を磨く時間が続きます。



参議院議員 比例代表

全国区

ありむら 治子 はるこ

選挙区 北海道から沖縄まで、全国 47 都道府県

生まれ 昭和 45 年 おとめ座

出身 滋賀県(石川県生まれ、ルーツは鹿児島)

性格 前向きにチャレンジする天性の明るさ

趣味 ウォーキング・子どもと楽しむ絵本の読み聞かせ

ホームページ www.arimura.tv

ありむら治子 検索

フェイスブック公開中!

www.facebook.com/haruko.arimura

〒100-8962

東京都千代田区永田町 2-1-1
参議院議員会館 1015 号室

TEL 03-6550-1015

FAX 03-6551-1015

E-mail haruko@arimura.tv

国会事務所

全国 47 都道府県の皆様に「ありむら治子」と個人名で投票いただいて、3 期目の議席をお預かりしています